

麻生区



■人口 181,194 人

■世帯数 80,328 世帯

■面積 23.11 km²

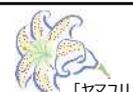
(令和 3 (2021) 年 10 月 1 日現在)

麻生区の木



「禅寺丸柿」

麻生区の花



「ヤマグリ」

1 麻生区の概要

- 麻生区は昭和 57 (1982) 年に、多摩区から分区して誕生しました。「麻生」の名は、8 世紀頃、この地が朝廷への貢物だった麻布の原料である麻を産したことによると伝えられています。
- 昭和 2 (1927) 年に小田急線の柿生駅が開設され、その後、昭和 49 (1974) 年に新百合ヶ丘駅が誕生、さらに小田急多摩線が開通しました。新百合ヶ丘駅周辺地区には行政機関、大型商業施設、病院などの都市機能が集積し、市北部における広域拠点として機能強化が図られてきました。
- 平成 24 (2012) 年に区制 30 周年を迎え、区の花「ヤマグリ」、区の木「禅寺丸柿」を制定しました。また、10 月 21 日を「禅寺丸柿の日」と制定し、禅寺丸柿キャラクター「かきまるくん」による普及活動など、麻生区固有の魅力と価値を後世に伝承する活動が進められています。
- 麻生区は、里地・里山など緑のうらおいにあふれ、一人あたりの公園緑地面積は約 10 m²と、7 区で最も高くなっています。区内には、「黒川」・「岡上」・「早野」の農業振興地域、農産物直売所「セレサモス」があり、平成 24 (2012) 年には「明治大学黒川農場」が開場するなど、農業資源に恵まれています。
- 麻生区では、芸術・文化のまちづくりが進められ、大学や施設が集積し、年間を通じて、市民の手によるさまざまな芸術・文化のイベント等が開催されています。また、芸術・文化や子育て、農などさまざまな分野で、区内の 6 大学（昭和音楽大学、玉川大学、田園調布学園大学、日本映画大学、明治大学、和光大学）や企業との連携も進んでいます。



2 まちづくりの方向性

豊かな自然と芸術が溶け合う活力のあるまち

- 麻生区は、新百合ヶ丘駅周辺をはじめ区内に芸術・文化が輝き、黒川・岡上・早野などに広がる豊かな自然や農のある風景、景観の整った美しい街なみが調和し、安全・安心で魅力にあふれ、心の安らぎが感じられるまちです。
- 区民がまちに愛着と誇りを持ち、こうした貴重な地域の資源を大切に育むとともに、地域や大学などのさまざまな主体が手を取り合い、支え合うことで、未来に広がる、誰もが暮らしやすいまちづくりを進めます。

3 これまでの主な取組状況

●芸術・文化のまちづくりの推進

豊かな芸術・文化資源を活かし、多彩な主体と協働・連携して、誰もが芸術・文化に親しめる環境づくりを進めています。

また、麻生区の地域に根ざした特有の伝統・伝承文化や観光資源について、地域の文化団体や観光関係団体等と連携し継承するとともに、さまざまな媒体を活用しその魅力を広く発信しています。

●農と環境を活かしたまちづくりの推進

農業資源や環境資源への理解を深め、その魅力を伝えるために大学や農業事業者、区民等との協働による地域資源を活用した取組を推進しています。

また、市民活動団体等との協働により、地球温暖化対策や自然エネルギーの活用などの環境問題に関する普及啓発の取組や、区内に残る里地・里山の魅力を伝えるための保全に関するイベント、人材育成交流事業等を実施し、環境資源の保全に向けた取組を推進しています。

●高齢化への対応とすこやか・支え合いのまちづくりの推進

高齢化が進展するなかで、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、麻生区らしい地域包括ケアシステムを構築し、互いに支え合える地域づくりを推進しています。

また、区民と地域団体、関係機関、行政のそれぞれが地域福祉の目的や課題を共有し連携を図ることによって、区民ひとりではできない、行政だけではできない自助・互助のしくみづくりを進めています。

●安全・安心まちづくりの推進

区民一人ひとりの防災意識の向上や自主防災組織の活動の活性化を通じた地域の自助・共助体制の強化を図るなど、災害に強いまちづくりを推進しています。

また、区民が安全・安心に暮らすことができるように、交通安全の啓発事業や、地域の防犯組織と連携した取組を行っています。

●総合的な子ども・子育て支援の推進

多様化・複雑化する子育て支援ニーズに対応するため、関係機関や団体等との連携を強化するとともに、大学や民間企業等の地域資源を活用した子ども・子育て支援の取組を進めています。

●コミュニティづくりの推進

多様な主体の連携により、「市民創発」によるコミュニティづくりに向けた取組を進めるとともに、地域コミュニティの核である町内会・自治会に対し、加入促進等の地域活性化に向けた取組を推進しています。

また、地域資源を活かしたスポーツのまち麻生の推進を通じて、豊かなコミュニティづくりを進めています。

4 現状と課題

● 芸術・文化が輝き、豊かな自然に恵まれています。

- 麻生区内には、「昭和音楽大学」、「日本映画大学」、「川崎市アートセンター」など芸術・文化関連施設等が集まり、「アルテリッカしんゆり」、「麻生音楽祭」「あさお芸術のまちコンサート」など、さまざまな芸術・文化イベントが開催されてきました。さらに、多くの区民が芸術・文化を身近に感じ、楽しみ、参加できる魅力あふれるまちを創るため、市民団体、事業者、教育機関、市民、行政等多彩な主体が交流を深め、一層の連携のもと、豊かな芸術・文化資源を活かした取組を進める必要があります。



麻生音楽祭

- 麻生区は、黒川・岡上・早野地区の農業振興地域をはじめ、市内の農地、山林の43%が区内に集積するなど豊かな自然に恵まれており、令和2（2020）年度のかわさき市民アンケートでは区民の81.3%が「公園や緑の豊かさ」について満足していると回答しています。こうした地域の農業資源、環境資源を活かして、地域の魅力やブランド力をさらに高めることが必要です。また、SDGsの目標達成のため、環境問題の対応に加え、多様な主体と連携した取組を進める必要があります。



収穫体験（明大黒川農場）

● 人口減少・高齢化に対応するため、支え合いの地域づくりを進める必要があります。

- 麻生区の人口は、令和12（2030）年頃をピークに約18.7万人まで増加を続けますが、その後減少に転ずることが予測されています。現在の区内の高齢化率は23.4%（令和3（2021）年6月現在）と既に市内トップになっており、町丁別に見ると50%を超える地区もあります。今後、更なる高齢化の進展によるケアを必要とする高齢者の増加や地域活動の担い手不足などに対応するため、地域における自助・互助の意識づくりやしくみづくりの推進が求められています。



地域包括ケアシステム講演会

● 安全・安心なまちづくりをめざした取組を進める必要があります。

- 麻生区内の土砂災害警戒区域は305区域（令和3（2021）年5月現在）と7区で最も多く、また、首都直下地震のみならず風水害の頻発化・激甚化が想定されることから、被害を最小限に食い止めるために、自助・共助体制の強化による、災害に強いまちをつくる必要があります。
- 交通安全に関する取組について、麻生区の交通事故発生件数は他区と比較少ない状況ですが、令和2（2020）年は子ども関係事故発生件数が7区で最も多くなっていることから、効果的かつ実践的な交通安全の啓発を行うなど、交通事故をなくすための取組を進める必要があります。また特殊詐欺についても発生件数は少ないものの、被害額が大きいことから幅広い年齢層を対象とした注意喚起を行っていく必要があります。



自主防災組織による訓練の様子

● 少子化・核家族化など子育て環境の変化に伴い、子ども・子育て支援の充実が求められています。

- 麻生区の年少人口は今後緩やかな減少傾向に転じると予測されている中、万福寺やはるひ野など、近年の住宅開発により年少人口の割合が高い地区もあり、子ども・子育て支援については依然として高いニーズがあります。核家族化や地域のつながりの希薄化などを背景に、育児への不安や負担感を抱きやすい家庭も増えていることから、子育て支援情報の発信、気軽に子育ての相談や交流ができる場づくり、地域活動の支援など、子育て家庭を地域全体で支え、安心して子育てできる環境づくりが求められています。



子育てサークルの活動支援

● 地域では知識や経験を持った区民によるさまざまな活動が行われています。

- 市民主体で運営する市民活動支援の拠点である「麻生市民交流館やまゆり」では、シニアなどが培ってきた知識や経験を活かした市民活動が行われています。これからは、暮らしを取り巻く環境の変化がもたらすさまざまな課題に対応するため、「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、多様な主体と連携して市民創発によるまちづくりを進める必要があります。また、町内会・自治会は、地域住民をつなげ、福祉や防災など身近な暮らしの課題の解決に大きな役割を担っていますが、加入率の低下や担い手不足、役員交代により継続した取組が困難になるなどといった課題への対応も必要となっています。
- そのほか、総合型地域スポーツクラブの更なる活動支援や区内の各種スポーツ大会支援を通じ、スポーツを通じた地域の活性化、豊かなコミュニティづくりを進める必要があります。また、「障害などの有無にかかわらず誰もがスポーツ・運動に親しんでいるまち」をめざして、誰もがスポーツに参加できる環境づくりに取り組む必要があります。



目指せ！アクティブシニア講座



総合型地域スポーツクラブでの体操教室



ボッチャ体験

5 計画期間の主な取組

芸術・文化のまちづくりの推進

主な取組の方向性

- 多彩な主体と協働・連携した誰もが芸術・文化を身近に感じる「芸術・文化のまち麻生」をめざす取組の推進
- 地域の文化団体や観光関係団体等と連携した麻生区特有の伝統・伝承文化や観光資源を活用した魅力の発信

事業名	現状	事業内容・目標
	令和3(2021)年度	令和4(2022)～7(2025)年度
しんゆり・芸術のまち推進事業 新百合ヶ丘駅周辺をはじめ区内に集積する芸術関連団体等と連携し、情報発信やネットワークづくり、イベント支援等誰もが芸術・文化を身近に感じる魅力あるまちづくりを推進します。	● 芸術・文化等の情報発信 ・情報発信の実施	・ホームページやソーシャルネットワーキングサービス等による情報発信の継続的な実施 ・効果的な情報発信手法の検討 ● 芸術・文化団体の情報交換・交流の場づくり、区民の芸術文化を通じたつながりづくりの推進 ・「あさお芸術・文化交流カフェ」の開催 ・区内で活動する芸術・文化団体等が参加する「あさお芸術・文化交流カフェ」の開催 ・「カフェ・グランデあさお」の開催 ・区の芸術・文化活動を知り、体験できる催しとして「カフェ・グランデ あさお」の開催 ・芸術・文化分野におけるネットワークを活かしたプラットフォーム創出への試行実施 ● 新百合ヶ丘駅周辺の更なる魅力向上に向けた取組の推進 ・多彩な主体が実施するイベント等への支援 ・新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアム等と連携した事業の実施や支援 ・更なる魅力向上に向けた検討
麻生音楽祭開催事業 区を中心に音楽活動を行う団体や学校が、日頃の活動の成果を披露する機会を参加する市民が主体となって創出することで、相互交流や芸術文化の向上を図ります。	● 麻生音楽祭の開催 ・「コーラスのついで」、「スクールコンサート」等6部門の開催	・地域の音楽団体や学校との協働による麻生音楽祭の開催  麻生音楽祭スクールコンサート
あさお芸術のまちコンサート事業 区にゆかりのある音楽家や芸術文化関係団体が主体的に連携を図り、区内各地でのコンサート等の開催を通じて地域や人のつながりをつくります。	● あさお芸術のまちコンサートの開催 ・「秋空のハーモニー」、「ユニヴァーサル」等の開催	・多様な団体等との連携による、世代、ジャンル、障害の有無を超えて誰もが音楽を楽しむコンサート等の開催  あさお芸術のまちコンサート
あさお観光資源の魅力紹介事業 観光ガイドブックの発行、観光写真コンクール及び禅寺丸柿のPRなどにより、区の魅力を発信し、区のイメージアップや地域の活性化を促進します。	● 区の観光資源の魅力発信 ・観光ガイドブックの発行 ● 「禅寺丸柿の日」イベントの開催 ・柿もぎ体験等のイベント開催	・観光写真コンクールの実施 ・観光ガイドブックの発行 ・麻生観光協会との協働による柿もぎ体験等のイベント開催  柿もぎ体験

農と環境を活かしたまちづくりの推進

主な取組の方向性

- 大学や農業事業者、区民等との協働による麻生区の貴重な農業資源や環境資源を活用した地域活性化に向けた取組の更なる推進
- 持続可能な開発目標（SDGs）の考え方を踏まえ、多様な主体と連携し、地球環境の保全に関する普及啓発をはじめとした持続可能なまちづくりへの取組の推進

事業名	現状	事業内容・目標
	令和3（2021）年度	令和4（2022）～7（2025）年度
農と環境を活かした連携事業 大学や農業事業者、区民等と連携し、区内の農業資源や環境資源を活かした地域活性化に向けた取組を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 黒川地区における実施計画等に基づく取組の推進 ・黒川地区協議会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒川地区協議会・専門部会活動の持続化に向けた取組の推進 ・収穫体験イベント等の実施 
	<ul style="list-style-type: none"> ● 岡上地区、早野地区における地域活性化に向けた取組の推進 ・関係者と連携した地域活性化の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・岡上地区での地域資源調査結果等に基づく取組の推進 ・早野地区の農業資源・地域資源を活用した各局との連携による取組の検討 収穫体験
麻生区SDGs推進事業 麻生区のローカルSDGsプラットフォームの創設に向けた取組を推進し、持続可能なまちづくりをめざすとともに、自然エネルギーの活用など地球温暖化防止等に関する普及啓発を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ● SDGs推進に向けた取組の実施 ・SDGsに関する関係者との取組の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・団体や企業と連携した麻生区全体でのローカルプラットフォーム創設に向けた取組の実施 ・活動団体等への支援など持続可能なまちづくりへの取組の実施 ・団体や企業、大学等と連携した講演会や交流会の開催 
	<ul style="list-style-type: none"> ● 地球環境保全に関する普及啓発の推進 ・各種イベント等の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体等による各種イベント等の開催（保育園・小学校の出前授業等） 出前授業
麻生里地・里山保全推進事業 麻生区の貴重な資源である里地・里山の魅力を、保全・活用の担い手として期待される若い世代に対して発信し、普及啓発を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 里地・里山保全に関するイベント、人材育成交流事業等の開催 ・里地・里山カフェ塾の開催 ・里山フォーラムの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・里地・里山の自然や文化等を継承し、未来へつなぐ里地・里山カフェ塾や里山フォーラムの開催 ・ボランティアの育成、確保等を目的とした人材育成交流事業の実施 
	<ul style="list-style-type: none"> ● 里地・里山の魅力の発信 ・写真展の開催 ・風景写真記録集の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・里地・里山への関心を高めることを目的とした風景写真展の開催 ・変わりゆく自然、風景を保存するための風景写真記録集の発行 里山フォーラム

高齢化への対応とすこやか・支え合いのまちづくりの推進

主な取組の方向性

- 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる麻生区らしい地域包括ケアシステムの推進
- 住民主体の地域づくりに向けた情報発信の推進
- 多様な主体との連携による支え合いの地域づくりに向けた取組の推進

事業名	現状	事業内容・目標
	令和3(2021)年度	令和4(2022)～7(2025)年度
地域包括ケアシステム推進事業 地域包括ケアシステムの推進に不可欠な、人材の発掘・育成のしくみをつくり、区民が主体的に関わる地域づくりを進めます。また、新しい生活様式を踏まえた、自助・互助の意識の醸成を図るための普及啓発や情報発信を実施します。	●住民主体の地域づくりに向けた取組の推進 ・民生委員児童委員協議会でのちいきのちからシートの活用 ・町会・自治会ヒアリングの実施 ●健康づくり・介護予防ボランティアの養成 ・講演会の開催 ・健康体操CDの配布 ・ボランティアグループへの支援 ●自助・互助の意識の醸成を図るための普及啓発・情報発信 ・地ケア講演会の開催 ・感染症関連公開講座の開催	・ちいきのちからシートを活用した住民主体の地域づくりに向けた取組への支援 ・関係機関、団体に対するヒアリングの実施・結果等を反映した地区カルテの充実  地域包括ケアシステム講演会 ・健康づくり・介護予防ボランティアの養成 ・ボランティアグループへの支援 ・健康づくり・介護予防活動の普及啓発 ・地域包括ケアシステムや保健福祉に関する講演会、講座等の開催 ・町会・自治会等における地域づくりの好事例や先進的な取組等の紹介
多様な主体との連携事業 区民と地域団体、関係機関、行政のそれぞれが地域福祉の目的や課題を共有し連携を図ることによって、区民ひとりではできない、行政だけではできない自助・互助の仕組みづくりを進めます。	●あさお福祉まつりの開催による地域福祉の推進 ・あさお福祉まつりの開催 ●高齢者見守りネットワーク事業の充実による支え合いの地域づくりの推進 ・情報交換会の開催	・地域福祉への理解と関心を高めるための活動紹介、作品展示と、福祉活動団体の交流の場づくり ・年1回以上の情報交換会開催による協力事業所等との連携強化 ・支援を必要としている高齢者を早期に発見できる環境づくりを推進 ・協力事業者数及び情報交換会参加促進の取組の実施

安全・安心まちづくりの推進

主な取組の方向性

- 区民の防災意識の向上、自主防災組織の活動の活性化や自立した避難所運営に向けた支援を通じた自助・共助体制の強化
- 交通安全啓発の一層の充実や高齢者・子どもを狙った防犯対策の推進

事業名	現状	事業内容・目標
	令和3(2021)年度	令和4(2022)～7(2025)年度
地域防災力の向上事業 個人、自主防災組織、避難所運営会議の役割を明確化することで、災害対応力のスパイラルアップを図り、災害時に誰一人取り残さない災害に強いまちをめざします。	●区民の防災意識の醸成 ・区民向け訓練等の開催 ●自主防災組織への活動支援 ・自主防災組織による訓練の活動支援 ●避難所運営会議の運営支援 ・住民主体で開催する会議の運営支援	・個人に向けた適正避難行動及び家庭内備蓄の啓発 ・多様な主体の連携による総合防災訓練、区民防災塾の開催 ・「防災のつどい」や訓練の支援 ・自立した活動へ向けた支援 ・災害時に公助を待たずに避難所の開設・運営ができるよう、住民が主体となって開催する避難所運営会議の開催  避難所宿泊訓練

事業名	現状	事業内容・目標
	令和3(2021)年度	令和4(2022)～7(2025)年度
麻生区安全・安心まちづくり事業 交通事故や犯罪のない安心して暮らせるまちの実現に向けて、さまざまな啓発等を行うことで、安全意識の高揚を図り、区民一丸となった安全・安心なまちづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●関係団体と連携した交通安全啓発活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室等の開催 ●関係団体と連携した防犯啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・防犯関連研修・講習会等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全意識の醸成に向けた、子どもから高齢者までを対象とするさまざまな取組の実施（交通安全教室、各季交通安全啓発活動、スケアードストレート教室、シルバードライビング教室等の実施） ・防犯関連研修・講習会・教室の実施 ・防犯情報の提供

総合的な子ども・子育て支援の推進

主な取組の方向性

- 大学や企業、関係機関や団体等との更なる連携強化により、地域ぐるみで子育て支援ができる環境整備に向けた取組の推進
- さまざまなツールを活用した効果的な情報発信の推進

事業名	現状	事業内容・目標
	令和3(2021)年度	令和4(2022)～7(2025)年度
子育て支援・企画事業 区民や関係機関、民間企業等と連携し、子育て支援や情報発信、子育てグループの活動支援等、新しい生活様式を踏まえ区の状況に応じた子ども・子育て支援を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●麻生区子ども関連ネットワーク会議の開催による情報共有と子育て支援に向けた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・全体会議の開催 ・研修等の実施 ●子育て関連機関や民間企業、区内保育所等と連携した子育て支援事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て人材バンク事業の実施 ・民間企業と連携した子育て支援事業の実施 ・子育て関係機関と連携した子育て支援事業の実施 ・あさお子育てフェスタの開催 ●子ども・子育て情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・子育て情報誌の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て関連団体等との連携会議を通じた情報共有、課題把握 ・地域ぐるみで子ども・子育て支援に取り組むための研修、講座等の実施 ・子育て人材バンク事業の実施 ・民間企業と連携した子育て支援事業の実施 ・あさお子育てフェスタの開催 ・子育てガイドブック「きゅっとハグあさお」と「ちびっこおでかけMAP」の発行 ・HPやSNSを活用した効果的な広報の実施
こども関連大学連携事業 「麻生区・6大学 公学協働ネットワークに関する協定」に基づき、近隣の大学の専門性を活かした講座や体験学習を通して、子ども・子育て支援に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●麻生区・6大学公学協働ネットワークの連携・協力による子ども・子育て支援の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・未就学児親子向け支援事業の実施 ・小学生向け支援事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・未就学児親子向け支援事業の実施 ・小学生向け支援事業の実施



きゅっとハグあさお



昭和音楽大学連携事業交流コンサート

地域資源を活用したコミュニティづくりの推進

主な取組の方向性

- 多様な主体の連携による「市民創発」のコミュニティづくりや地域コミュニティの核である町内会・自治会に対する加入促進等の取組の推進
- 地域資源やスポーツを活用した豊かなコミュニティづくりの推進

事業名	現状	事業内容・目標
	令和3(2021)年度	令和4(2022)～7(2025)年度
町内会・自治会加入促進事業 町内会・自治会への加入を促進し、地域のつながりづくりや地域コミュニティの活性化を進めます。	● 町内会・自治会加入促進ガイドブック等を活用した町内会・自治会への加入促進 町内会・自治会加入促進ガイドブックの発行	・町内会・自治会加入促進ガイドブックの発行
麻生区市民活動支援施設利用促進事業 「麻生市民交流館やまゆり」を通じて市民活動支援の促進を図ります。	● 市民活動団体交流イベント、市民活動参加を促す人材育成講座等の実施 ・市民活動団体の活動発表会やアクティブシニア講座等の開催 ● さまざまな媒体を活用した情報発信・提供 ・情報発信、情報提供の実施	・市民活動団体を対象とした市民活動支援のための交流イベントの実施 ・市民活動への参加促進を目的としたアクティブシニア講座の実施 ・区民の手により制作された広報紙を活用した情報発信の実施 ・相談窓口での情報提供等、市民活動につなげる取組の実施
あさお希望のシナリオプロジェクト推進事業 様々な地域資源を活用しながら、多様な主体と連携し、「麻生区版ソーシャルデザインセンター」の創出や「まちのひろば」の創出等希望のシナリオ実現に向けた取組を推進します。	● 「麻生市民交流館やまゆり」による提案型事業の実施 ・提案型事業の実施・報告会の開催	● 市民創発によるまちづくりに向けた取組の推進 ・あさお希望のシナリオプロジェクト検討会の開催 ・ソーシャルデザインセンター創出に向けた検討 ・ソーシャルデザインセンターへの立ち上げ支援 ・まちのひろばの創出支援
スポーツのまち麻生推進事業 区内のさまざまなスポーツ資源を活用しながら、区民のスポーツ参加を促し、区内各スポーツ関連団体が交流を図ることで、活力ある地域づくり、豊かなコミュニティづくりを促進します。	● 地域のスポーツ資源を活用した活動支援、教室開催、イベント実施 ・スポーツ大会開催支援 ・ボールウォーキングイベント等の実施 ・イベント開催等による地域活性化の取組	● 総合型地域スポーツクラブの活動支援と他団体との連携促進 ・活動支援 ● バラスポーツの普及・促進に向けた取組の推進 ・バラスポーツ体験教室の開催



あさお希望のシナリオプロジェクト検討会



スポーツ・健康ロードを活用したボールウォーキング

区における地域の課題解決に向けたその他の取組

取組の柱 区名	事業名	概要	現状	事業内容・目標
			令和3（2021） 年度	令和4～7（2022～2025） 年度
麻生区				
芸術・文化のまちづくりの推進				
	野外上映会開催事業	市民団体等との協働で野外上映会を開催し、「芸術・文化のまち麻生」の取組を区内各地へ広げます。	●地域資源を活かした野外上映会及び関連イベントの開催	
	ふるさとあさお再発見事業	区に伝わる伝統行事「七草粥」を再現し、地域の豊かな自然の恵みと文化の香りに触れる機会を提供します。	●地域文化団体等と連携した伝統行事「七草粥」の実施	
	イメージアップ推進事業	区内の文化芸術やスポーツ資源の魅力をアピールし、芸術・文化のまちづくりを推進します。	●kirara@アートしんゆりへの協力 ●芸術・文化やスポーツ活動に関する懸垂幕や柱巻き広告の掲出	
	区制40周年記念事業	令和4年7月に麻生区が区制40周年を迎えることを契機として、区民の区に対する誇りや愛着を高めることを目的に、区制40周年事業を実施します。	●区民主体の実行委員会における企画検討 ●記念式典の開催 ●記念事業の実施	
農と環境を活かしたまちづくりの推進				
	あさお花いっぱい推進事業	美化活動団体への支援を通じて、区民との協働による地域の環境美化及び地域コミュニティの推進を図ります。	●公共的空間にある花壇等を自主的・継続的に管理している団体への花苗等の提供	
	ヤマユリ植栽普及促進事業	地域の団体と連携しながら消えつつある区の花ヤマユリの植栽活動を促進、支援し、植栽のノウハウの蓄積、普及を推進します。	●ヤマユリ植栽地の観察・管理活動の実施 ●ヤマユリ普及のための育苗講習会や広報活動の実施	
安全・安心まちづくりの推進				
	小学校区危険箇所案内マップ作製事業	区民、地域団体、学校等の連携により、区民の日常生活における交通・防犯上の危険箇所を表示したマップを作製し、配布します。	●「小学校区危険箇所案内マップ」の作製及び配布	
	麻生区ガイドマップ増刷改訂事業	転入者等への初期情報として、地図を中心とした区内の各種情報を提供するため、麻生区ガイドマップを改訂し、配布します。	●麻生区ガイドマップの改訂・発行及び区ホームページの地図データ等の更新	
	麻生落書き消し事業	駅周辺等の一斉落書き消しや、地域の要請による「出前落書き消し」を実施し、区内の美化と安全で安心なまちづくりを推進します。	●区内駅周辺等の「一斉落書き消し」や地域の要請に応じた「出前落書き消し」の実施	
総合的な子ども・子育て支援の推進				
	外国籍等子ども学習支援事業	外国籍及び外国につながる児童・生徒の学習を地域で支援します。	●小・中学校の授業における学習支援事業の実施	

総論

10年戦略

基本政策1

基本政策2

基本政策3

基本政策4

基本政策5

区計画

進行管理・評価

政策体系別計画

取組の柱 区名	事業名	概要	事業内容・目標	
			現状 令和3（2021） 年度	令和4～7（2022～2025） 年度
地域資源を活用したコミュニティづくりの推進				
	町内会事業提案制度事業	町内会・自治会が、地域の課題を発見し、課題解決のための事業提案を行い、選定された事業を区と協働で実施します。	●町内会・自治会と協働した提案型事業の実施	
	麻生区市民提案型協働事業	地域の団体等から地域課題の解決に資する事業提案を受け、選定された事業を提案団体が実施することで、より住みやすいまちづくりを推進します。	●地域の団体等と協働した提案型事業の実施	
	麻生区市民活動支援施設活用事業	「麻生市民交流館やまゆり」の施設の管理運営を支援します。	●「麻生市民交流館やまゆり」の施設運営の支援	
	麻生区地域功勞表彰事業	地域で活動している人（団体）を表彰することで、地域活動への関心を高め、地域の活性化を図ります。	●麻生区地域功勞表彰及び奨励表彰候補者の募集、選定及び表彰	
	麻生区多文化共生推進事業	多文化共生に対して高い意識を持つ区民が主体となった自主的・自発的な多文化共生活動の支援・推進を図ります。	●地域における多文化共生の啓発及び推進 ●地域の日本人市民と外国人市民の交流推進	
	区民祭開催経費	麻生区の文化の発展と区民の連帯を深め、うるおいのある麻生区のまちづくりを推進します。	●区内各種団体との協働によるあさお区民まつりの開催	
区役所サービス向上事業				
	区役所窓口等サービス充実改善事業	区役所の総合的なサービス向上のための環境整備や研修を実施します。	●サービス向上のための環境整備や研修の実施	
	区政・地域情報提供事業	駅周辺施設情報をわかりやすく伝えるための盤面の更新や、区役所職員の広報スキル向上等を図ります。	●新百合ヶ丘駅周辺案内サインの盤面更新や広報研修の実施	
地域課題対応事業その他事業				
	事務費等共通経費	地域課題対応事業の実施に必要な事務費を計上します。	●地域課題対応事業の実施に係る事務費	
区の新たな課題即応事業				
	区の新たな課題即応事業	新たに生じた課題に、適切かつ迅速に対応し、解決に向けた取組を推進します。	●新たに発生する課題に対応する事業の実施	